

教育委員会定例会会議録

1 日時

令和3年 6月24日(木)

開会 9時30分

閉会 9時53分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席委員 木平芳定教育長、森脇健夫委員、大森達也委員、栗須百合香委員、
北野誕生水委員

欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 木平芳定(再掲)、副教育長 上村和弘

次長(教職員担当) 山本健次、次長(学校教育担当) 諸岡伸、

次長(育成支援・社会教育担当) 佐脇優子、次長(研修担当) 水野和久

教育総務課 課長 森岡賢治、班長兼企画員 森将和

教職員課 課長 野口慎次、班長 水谷匡利、主査 鈴木良典

高校教育課 課長 井上珠美、班長 河合貞志、係長 水谷紀子

特別支援教育課 課長 赤尾時寛、課長補佐兼班長 加藤謙司、
充指導主事 遠藤純子

生徒指導課 課長 井ノ口誠充、子ども安全対策監 尾崎充

5 報告題件名

報告 1 令和4年度三重県立高等学校入学者選抜実施日程・三重県立特別支援
学校入学者選考実施日程について

報告 2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について

報告 3 令和4年度三重県公立学校教員採用選考試験の申込状況について

6 審議の概要

・開会宣言

木平芳定教育長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

5名中5名の委員の出席により会議が成立したことを確認する。

- ・ **前回審議事項（6月3日開催）の審議結果の確認**

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

- ・ **議事録署名者の指名**

大森委員を指名し、指名を了承する。

- ・ **会議の公開・非公開の別及び進行の確認**

会議の進行は、報告1から順に報告を受けることを決定する。

- ・ **報告事項**

報告1 令和4年度三重県立高等学校入学者選抜実施日程・三重県立特別支援学校入学者選考実施日程について（公開）

（井上高校教育課長説明）

報告1 令和4年度三重県立高等学校入学者選抜実施日程・三重県立特別支援学校入学者選考実施日程について

令和4年度三重県立高等学校入学者選抜実施日程・三重県立特別支援学校入学者選考実施日程について、別紙のとおり報告する。令和3年6月24日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長、特別支援教育課長

資料1ページをご覧ください。入学者選抜の日程については、中学校、高等学校が翌年の年間計画を立てる必要があることから、前年度の2月に前期選抜と後期選抜の検査日、合格発表日を公表しております。今回、入学願書の受付期間など、その他のすべての選抜日程を決定いたしましたのでご報告申し上げます。

前期選抜については、2月2日、3日のいずれか1日または両日で検査を実施します。連携型中高一貫教育に係る選抜やスポーツ特別枠選抜、過年度生を対象とした特別選抜も併せて実施します。また、2月9日に前期選抜等において、病気などで欠席した受検者のための追検査を実施します。その合格内定の通知は2月14日に行います。加えまして、新型コロナウイルス感染症に関連して、前期選抜またはその追検査を受検できなかった受検者のための追々検査を、前期選抜検査日から2週間後の2月17日に、前期選抜で入学定員の100%を募集する高等学校の学科・コースにおいて実施し、その内定通知を2月18日に行います。

後期選抜については3月9日に検査を実施し、3月17日に合格者発表を行います。また、3月23日に追検査と合格者数が入学定員に満たなかった高等学校の再募集の検査を実施します。この3月23日、追検査の日は、後期選抜検査日から2週間後になりますので、病気などで欠席した受検者や、新型コロナウイルス感染症に関連する欠席者も受検することが日程的に可能であると考えられるため、後期選抜については、追々検査の日程は設定しておりません。

このほかに、夜間定時制課程では、再募集後、合格者数が入学定員に満たなかった場合、追加募集の検査を3月29日に実施します。その後、通信制課程においては、再募集の検査を4月4日に実施します。

また欄内に書かせていただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の

状況によっては実施日程を改めて検討することといたします。

令和4年度高等学校入学者選抜に係る日程については以上です。

(赤尾特別支援教育課長説明)

続きまして、令和4年度三重県立特別支援学校入学者選考の実施日程について報告いたします。

資料の下の部分にあります、令和4年度三重県立特別支援学校入学者選考実施日程をご覧ください。

まず、特別支援学校の選考につきまして、県立高等学校の前期選抜の日と同日の2月3日に実施いたします。当日、病気などで欠席した生徒を対象とした追選考を2月9日に行います。合格者発表は2月14日に行います。

2月に実施します選考において、一部、または、すべてを受検しなかった者を対象に、再募集による選考を3月18日に実施いたします。その出願期間は、高等学校後期選抜と同様に、2月21日から2月25日までとしておりまして、高等学校後期選抜の合格者発表後に、特別支援学校の再募集による選考を受検する可能性がある場合には、高等学校と特別支援学校の両方に出願できることとします。

なお、再募集による選考において病気等で欠席した生徒の追選考は、受検者の状況に応じまして適宜当該の特別支援学校において対応することといたします。

欄外でございますけれども、県立特別支援学校の受検を希望する生徒につきましては、選考、再募集のいずれの場合におきましても、1月25日までに希望する学校において、必ず教育相談を受けていただくこととします。

この特別支援学校の入学者選考の日程につきましては、本日この後、市町教育委員会等へお伝えする予定としております。

以上が令和4年度三重県立高等学校入学者選抜実施日程・三重県立特別支援学校入学者選考実施日程についての説明でございます。

【質疑】

教育長

報告1はいかがでしょう。

大森委員

去年は、コロナによる出題範囲の変更というのがありましたよね。今年度は当然ないと思うんですけど、そのアナウンスっていうのはあるんですか。要は大学入試の場合は文科からそういうことが言われてきたので、一応私たち確認したんですけど、高校受検の方はそのアナウンスなしで、アナウンスもされてればいいんですけど、されてなくてもOKというか、よいということなんですかね。

河合班長

そのことにつきましては、9月の実施要項をですね、発表する際に併せてその旨も伝えて参りたいというふうに考えます。

大森委員

はい、わかりました。ちょっと遅いような気もするんですけど、中学校は納得してるんですか。（出題範囲の変更は）ないとは分かっていると思いますけど、遅くないかなという気がしたんですけど、9月では。

諸岡次長

それまでに市町教育委員会と連携する機会もございますので、丁寧に説明していきたいと考えております。

大森委員

わかりました。

教育長

去年、出題範囲を前期選抜で例年と変えますという時期はいつだったんですか。

井上課長

7月8日の定例会見のあたりです。今日、この日程のことについて、市町教育委員会等に連絡を入れさせていただきますので、そのメールの中で触れさせていただきたいと思います。

教育長

メールがいいのかもちょっと考えて、去年はきちんとそうやってしていて、今年どうかという指摘のとおり、思われる方がいて普通なので、もうちょっと丁寧に考えて、どうするかはきちんと考えて対応していただきたいと思います。

井上課長

対応させていただきます。ありがとうございます。

北野委員

もう1つ、私がちょっと知らないだけなんですけども、この追検査というのは、この新型コロナウイルスとか特別な感染した方だけじゃなくて、例えば病気とか、そういった体調不良とかで休まれても、追検査というのは受けられるものなんですか。

井上課長

前期選抜の2月9日の追検査ですとか、3月23日の追検査なんですけれども、インフルエンザですとか病気とかで、その日当日に受検できなかった受検生は元々受検できます。昨年度、追検査までが2週間ありませんでしたので、新型コロナウイルス感染症にかかったり、濃厚接触者になったりすると、2週間自宅待機がありますので、検査日から2週間後に追々検査という形で、新たに設けさせていただいて、今年度も前期選抜に関しては2週間後にやって、後期選抜は元々検査日から2週間後に追検査があります

ので、そちらのほうで対応できるということで考えさせていただいております。

北野委員

追検査というのは、今回コロナのこともあって2回追検査があると思うんですけど、これは試験の内容というのは、皆さん一緒なんですか。

井上課長

試験の内容はそれぞれ別になります。

諸岡次長

先ほど説明の中で井上が3月9日の追検査と申し上げましたが、3月23日の追検査の間違いです。

教育長

昨年度は後期選抜については、今年度日程表はこういう形なんですけれども、昨年度は2週間取れなかったのもう一つ、追々検査という日程を入れさせていただいたんですけれども、今年度は2週間取れるということです。

教育長

よろしいでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

報告2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について（公開）

（井ノ口生徒指導課長提案）

報告2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について

三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について、別紙のとおり報告する。令和3年6月24日提出 三重県教育委員会事務局 生徒指導課長
説明は尾崎子ども安全対策監が行います。

（尾崎子ども安全対策監説明）

配布資料1ページをご覧ください。

三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任命につきましては、本年4月20日の教育委員会定例会において、人事異動に伴う委員6名の交代について、ご報告させていただきました。今回は、委員の任命がこの6月30日で満了となることから、資料3ページのとおり、次期委員の任命を行うものです。各機関や団体の委員の方には、継続して務めていただけることを確認しております。また、交代のなかった委員の方々についても、再任となっております。

資料2ページをご覧ください。

上段はいじめ防止対策推進法、中段は三重県いじめ防止基本方針、下段は本協議会の

設置条例の組織と委員について抜粋したものです。本協議会は、いじめの防止等に関する機関や団体の連携を図ることなどを目的に、年2回会議を持つ予定でございます。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

【質疑】

教育長

報告2はいかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

報告3 令和4年度三重県立公立学校教員採用選考試験の申込状況について（公開）

（野口教職員課長説明）

報告3 令和4年度三重県公立学校教員採用選考試験の申込状況について

令和4年三重県公立学校教員採用選考試験の申込状況について、別紙のとおり報告する。令和3年6月24日提出 三重県教育委員会事務局 教職員課長

次のページをおめくりください。令和4年度の選考試験の申込状況が次のとおりでございます。右の方に令和3年度の採用の状況、それから左の方に令和4年度の採用の状況が記載されております。令和3年度の申込者数が2,872人に対し、令和4年度は左の方が2,631人と、申込段階で241人減っている状況でございます。倍率で申し上げますと、右の令和3年度の方が6.6倍、令和4年度採用が5.0倍ということでございます。それが校種別に小学校・中学校から、記載させていただいている状況でございます。

続きまして2ページをよろしくお願いいたします。先ほど全体について申し上げましたが、2ページ目が校種・教科等別の申込状況でございます。教科によっては申込者数が少し少なく、例えば、中学校の技術が採用見込数4名に対し申込者数が12名、家庭が4名に対し申込者数が9名といった状況となっております。

それから、3ページにまいります。平成25年度からの申込者・合格者数等の状況とその推移を記載させていただきました。

説明は以上でございます。

【質疑】

教育長

報告3はいかがでしょうか。

大森委員

家庭の9名というのはなぜこんなに少ないんですか。家庭科の教員免許を出せる大学が東海地区には三重大学と一部の女子大学ぐらいしかいないとか、そういうことが影響しているということですか。

野口課長

そうですね、例年それほど多くない教科でございまして、こういった状況でございます。

大森委員

三重大学の4年生の定員より少ないと思うんですけど、この9名というのは。

水谷班長

家庭科の教員を受験される方には、もちろん教育学部の方もみえるんですけども、栄養系とかの大学でですね、栄養士の免許を取れる大学からも受けていただく方がみえます。なかなかですね、家庭科の免許と栄養士の免許を一緒に取るってことが難しいみたいで、どうしても栄養士の優先順位が高くなってしまいます。

こちらも、大学へ訪問とかさせていただいて、「ぜひ家庭科の教員を」と言っているんですけども、二つ取れる人はかなり能力の高い方っていうことを聞いております。

ですので、今後も働きかけを行っていくんですけども、ちょっと今年度についてはですね、多い年もあるんですけども、なかなか集まらず、大学に行けてない状況もあることも確かです。コロナの関係でですね。

大森委員

極端な話になってしまうんですけど、これだけ子どもの数、大学生が減ってきたときに、この家庭科9人ということになっていくと、ゆくゆくはこれ定員割れを起こしてくる。そうすると先生が足りないというようなケースが、他府県で起きている、減っているというようなことを聞いたんですけど、三重県でこれが起きてしまうといけないので、いかにこの家庭科教員を確保するかっていうことは三重大学さん中心になると思うんですけど、考えてもらったほうがいいかなという数字だと思いました。

森脇委員

小学校教諭も減りましたね。これはさっき大森委員が言ったことと関係するんですけど、東海北陸で話をすると、かなり各県教員採用数を、受験者を確保するのに苦労されておられると聞いているんですけど、三重県は少し状況が違うっていうふうに説明してたんですけど、ちょっと陰りが出てきたかなという感じがするんですが、小学校教員志望の50人減ったというのは、ちょっとやっぱり分析をしたりとか、どうしたらいいかってことを考えておくべき数字じゃないかなってちょっと思いましたね。

野口課長

ありがとうございます。リーフレットとかウェブサイトとかで広報活動には努めておるんですが、プラスして三重大学や皇學館大学においてですね、オンラインによる説明会だとか、そういうようなところもですね、やらせていただいておりますが、ちょっと今年度については、これぐらいの状況ということですよ。特に分析してみますと減少

率としては、県内の方っていうより県外の方がですね、受けに来られる、申し込まれる方がちょっと少なかったというような状況になっております。

大森委員

ちょっとそれもう一回確認なんですけれども、栄養教諭になりたいという方は41名いらっしゃって、倍率10倍、先ほど言われた栄養士を取って家庭科教諭が取れるというところとなると、急に9人に減ってしまう。ここは何かこう資格の問題ですか。先ほど栄養士の資格を持っていらっしゃる方は家庭科の教員免許も取れるって言われてて、栄養教諭がすごく人気が高いなと思ったんですけど、家庭科になるとカクッと落ちてるので。確かに大学から見ると家庭科教員養成っていうのは実習を伴いますので、かなり費用負担が発生して、多くの大学が実習施設とかを設けないといけないので大学としては非常にコストがかかる学科目だとは思うんです。なかなか家庭科教員養成というのは難しいので国立大学が多いと思うんですけど、ちょっとここはもうちょっと分析してもらった方がいいんじゃないのかなと。東海北陸の話もそうですけど、全国の話聞かせてもらった時も、全国でも他の大学ではなり手が少ないと言われていて、三重はそんなことないんやと思ってたんですけど、確かに電気・電子の9人というのもかなり気になるところですけど、これはもうたぶんおそらく電気・電子の景気の影響もあるんだと思ったりするんですけど、家庭科っていうのはあんまり景気の影響はないのかなと思ったりするので。

野口課長

また調べさせていただきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

教育長

他にいかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

・閉会宣言